

授業科目名	助産過程論	担当教員	准教授 橋本 美幸		
開講年次及び学期	3年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1

授業の目的（概要）

妊娠・分娩・産褥・新生児の助産課程の展開を修得する。
 疾病-Clinical Problem-を、対象の徴候や様々なデータから明らかにし、解決しようとする際の思考過程（助産臨床推論）を学ぶ。

学修成果（到達目標）

- 1 妊娠・分娩・産褥・新生児の各期の助産課程の展開の方法を理解できる。
- 2 科学的根拠に基づいた助産診断ができる。
- 3 分娩期の初期診断を行うために必要な情報収集ができる。
- 4 正常な妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の経過が、異常に移行するリスクについてアセスメントできる。
- 5 臨床推論の基本的な思考過程を理解する。

キーワード

助産診断、助産課程、助産臨床推論

授業の進め方

原則対面で、グループディスカッションを主としながら授業を進めます。
 フェーズが上がり、対面授業が出来なくなった場合は、対面が可能な時期まで開講を延期する場合もある。

成績評価の方法（合否基準）

助産課程の事例演習レポートで評価する。100点のうち60点以上を合格とする。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

【参考書】
 北川真理子、内山和美：今日の助産-マタニティサイクルの助産診断・実践課程 南江堂
 産婦人科診療ガイドライン産科編2020 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会
 プリンシプル産婦人科学(1)(2)婦人科編[第3版]メジカルビュー社
 我部山キヨ子編：助産学講座 助産診断・技術学Ⅱ(1)(2) 妊娠期, 医学書院
 横尾京子編：助産学講座 助産診断・技術学Ⅱ(3) 医学書院

オフィスアワー

橋本美幸（臨床看護学講座）質問等随時 E-Mail: mihashi@med.shimane-u.ac.jp

授業計画

[illegible]